

第62回町村議会議長全国大会  
伊達忠一参議院議長 祝辞

御挨拶に先立ち、本年7月の西日本を中心とした豪雨や10月の北海道胆振地方で発生した地震など、相次ぐ自然災害により犠牲となられた方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

本日、ここに、第62回町村議会議長全国大会が開催されるにあたり、参議院を代表して一言御挨拶を申し上げます。

地域の多様な意思を直接、町村の施策に反映させる議会は、住民一人ひとりの生活の基盤作りに大きな役割を果たしています。議長という要職で、日夜、力を尽くされている皆様に対し、深く敬意を表する次第でございます。

現在、我が国は、本格的な少子高齢社会の到来、地方から都市部への人口流出、十分な行政サービスを担うための財源確保など多くの課題に直面しております。そうした中、それぞれの議会において、日頃から重責を担っておられる皆様方が一堂に会し、地方自治を巡る諸課題について議論を深め、総意を結集されますことは、誠に意義深いことと存じます。本日の大会を契機として、それぞれの町村が持つ魅力を活かした地方創生に向けて、議会の舵取りにますます御奮闘されることを期待する次第です。

結びに、本日の大会が、実り多いものとなることをご御祈念申し上げますとともに、全国町村議会議長会の更なる御発展と御列席の皆様方の一層の御健勝、御活躍を心よりお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

平成30年11月21日  
参議院議長 伊達 忠一